

平成28年度授業改善推進プラン

清瀬市立清明小学校第2学年

	学力調査から見た課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読書への興味は個人差がみられるが、読み聞かせなどを楽しみにしている児童は多い。 ・叙述を根拠にしながら、内容を読み取れない児童がいる。 ・書くことの基本が身につけていない児童がいる。 ・既習の漢字が定着していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間に、個に合った本を教師が紹介するなど、本に興味を持たせる支援を行っている。保護者の協力を得ながら、週1回の読み聞かせ活動を行っている。 ・「この言葉からこんなことがわかる。」ということを繰り返し子供に投げかけ、発表させ、大切な言葉や文に着目する意識を高める。 ・内容を短くまとめさせる。読書を通して、読解力をつけていく。 ・教示のお手本を提示し、書く項目や書き方の理解を深める。 ・5W1Hをメモさせてから、文にするなど、短い言葉から文にしていく活動を繰り返し行う。 ・漢字テストの前には必ず練習させ、満点が取れるまで復習させる。新出漢字の学習では、漢字の成り立ちや漢字を使った言葉探しなどを行うことで、意味を理解しながら記憶できるようにする。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・加法・減法の計算の習熟が充分でない児童がいる。 ・乗法九九を活用できるようにしたい。 ・単位換算が苦手な児童がいる。 ・時刻・時間を表したり読み取ったりして生活に活かしていくことが難しい。 ・全体的に、量感に乏しい傾向がある。 ・文章題を正確に読み取り、意味を理解することが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習を活用し、一人一人の学習状況を見取る。つまづいている箇所を把握し、個別指導を行うことで基礎・基本の計算を定着させる。 ・暗唱をするだけでなく、体験的な活動や生活経験と結び付けるなどして指導を工夫し、乗法の意味そのものを理解させ、計算が確実にできるようにする。 ・具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして、計算の意味を理解させる。また、単元の学習が終わったあとも日常的なやり取りの中で復習をする機会を設ける。 ・体験的な活動を通して、時刻・時間の読み方や長さ、面積、体積、形について理解させる。 ・およその見当をつけたり実際に測定したりする活動を授業だけでなく、日常生活でも行う。 ・簡単な数字に置き換えたり、図に表したりして、問題文の状況を具体的にイメージさせる。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会に直接かかわる体験が不足している。 ・みんなで使うものを大切に、安全に正しく使うなど公共の意識を育てたい。 ・活動を通して気付きを深めたり、互いの気付きを交流したりする活動が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検や校外探検を軸にしながら、関心をもったことについて、見る、聞く、触れる、探すなどして直接追究する活動を設定する。 ・公共物や公共施設を積極的に利用する。その中で、ルールやマナーを身に付けさせ、公共の意識を高めていく。 ・身近な自然に触れたり、伝統行事や伝承遊びに関する活動をしたりする際には、異学年と交流をしたり、お年寄りの方に授業を行ってもらったりし、自分の気付きを交流したり、交流から気付いたりできるように工夫する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力が持続しない児童がいる。 ・歌の好きな児童が多いが、表現を好まない児童がいる。 ・鍵盤ハーモニカの奏法の習得に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、授業の始めに、リズム学習を取り入れることにより、集中力を養う。 ・教科書の他に、季節の歌、リズムカルな歌など多く取り入れ、ひとりひとりが伸び伸びと表現できるようにする。 ・授業形態を工夫して、鍵盤ハーモニカの個別指導を行う。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む児童が多い。 ・技能に興味関心が高い児童が多い。 ・自らの感情をコントロールできず、作業に集中できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究し、学習内容を工夫する。 ・楽しみながら活動するなかで、スモールステップにより基礎的スキルを身につけ、表現の幅を広げる。 ・全体指導の後の机間指導で個に応じた指導の工夫を図り、学習への意欲を高める。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのルールなど、決まりを守って活動することが難しい児童がいる。 ・体力面の個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前に全体でルールの確認を行う。ルールを守ることで安全で楽しく活動できるという経験を増やしていく。 ・一人ひとりの活躍を賞賛する場を設ける。 ・運動の場や方法を選んだり、友達のよい動きを見付けたりする。楽しく運動する中で、自らの課題をもたせ、様々なスキルを身に付けさせる 	